

団体の名称

壮瞥町教育委員会

連携している団体

保育所・小学校・PTA・子育て、教育支援団体・企業、事業所・行政

活動の背景・ねらい

《背景、状況》

- ・良好な親子関係の構築を目指し、乳幼児期から親子参加型の事業を展開している。
- ・望ましい生活習慣の定着に関する学習機会やコミュニケーション能力を高める取組を継続して行っている。

《対象者》

- ・未就学児 ・小学生 ・その保護者

《ねらい、目的》

- ・「親力」の向上を図るために保護者が子育てや家庭教育について学ぶ機会を地域に定着
- ・地域住民の「子供の望ましい生活習慣」定着に向けた意識の醸成
- ・携帯電話及びスマートフォンの使用について家庭内でのルール作り

活動内容

- ・昨年度は、壮瞥町「親力つむぎ検討チーム」リーダーがお寺の住職ということもあり、お寺を会場に「お寺で修行と裏山で遊ぼうDAY」というテーマで開催した。
- ・お寺での座禅体験や裏山散策のほか、保護者には「電子メディアとの関わり方」に係る講演を行い、最後は親子協働で裏山で採取した木の実を使ったリースづくりや、焼き芋や焼きマシュマロ焼きを体験した。
- ・小学生から高校生までもを対象とした「携帯電話・スマートフォン」の使用に関して家庭内でのルール作りを奨励するチラシを作成し、配布した。

【活動の様子】



座禅体験



リースづくり



焼き芋・マシュマロ焼き

活動の成果

- ・地域資源を有効活用した活動を企画したことで、地域における家庭の教育力の向上や子供たちの望ましい生活習慣の定着を図ることができた。
- ・協働作業を通して親子のコミュニケーションが図られ関係が良好となった。また運営スタッフや検討チームが事業に参加することで異世代交流の場とすることができた。

今後の展望

親力つむぎ検討チーム委員の企画による「親子参加プログラム」の構築により、事業に関心を持つ地域住民が増えてきている。

このことを踏まえ、今後も地域の担い手との連携強化を図り、参加意欲が沸くプログラム内容を検討しながら、地域における家庭の教育力の向上を図っていく。